

第5学年2組 英語科指導案

場 所 5年2組教室
HRT 高村 斉甫美
ALT カテリン睦地

1 単元名 What's this? ～クイズを作ろう～

2 単元目標

- ・日本語と英語の共通点や相違点に気付き、言葉の面白さを知ることができる。 (知識・理解)
- ・身の回りの物が何かと尋ねたり答えたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- ・クイズやインタビューゲームを通して、身の回りの物が何かと尋ねたり、答えたりする表現を活用することができる。 (学びに向かう力・人間性等)

3 単元について

本学級の児童は英語活動に興味をもって取り組む児童が多い。チャンツのリズムにのって大きな声で発話したり、単語を覚えようとしていたりしている。今年度からALTと一緒に英語の学習に参加することもあり、「英語を話したい」と意欲をもって取り組んでいる。

しかし、中には「英語を話したい」と思っているものの、自分の英語に自信がなく、英語活動に積極的になれない児童もいる。そこで、ゲームやチャンツを用いて楽しく何度も発音練習をさせることで、積極的に英語を話したいという児童を増やしていきたい。

本単元では身の回りにあるものの名前を学び、それが何であるかを尋ねる表現を学ぶ。表現に慣れ親しむためにもチャンツだけでなく、シルエットクイズや漢字クイズ、スリーヒントクイズ、パズルクイズなど多くのクイズを使いながら発話させる場面を設けたい。また単元の最後には、ペアで自分の考えたクイズを出し合う場を設定する。友達との会話活動を通して、積極的に英語で伝えようとする力を身につけさせたい。

4 学習内容（単元計画）と学習の方法

学習の内容（単元計画 4時間完了）	学習の方法（手立て）
<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの名前を知る。 1時間 ・身の回りにあるものが何かを尋ねたり、答えたりすることができる。3時間 (3/3本時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの名称やそれが何かを尋ねる表現を積極的に使わせるために、クイズやゲームを用いる。 【主】 ・友だちと英語を使って会話させるために、シルエットクイズ、漢字クイズ、スリーヒントクイズなどのゲームを通じて、英語で尋ねたり答えたりする活動を取り入れる。 【対】 ・日本語と英語の共通点や相違点を知るために、ALTの発音や絵カードに載せる言葉や絵を工夫する。 【深】

5 本時の目標

- ・身の回りの物が何かと尋ねたり答えたりすることができる。(思考力・判断力・表現力)

6 指導過程

段階	学習内容・主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点						
出 合 う	1 あいさつ 2 チャンツで “What’s this? It’s ○○.”の言い方に慣れる。 3 英単語の復習練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を思い出させるために、チャンツで楽しみながら復習する。 ・冠詞 (a, an) を絵カードに載せることで、単数・複数の形について気付けるようにする。【深】 						
さ ぐ る ・ 解 決 す る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> What’s on my back? (背中の絵は何?) </div> 4 背中に貼られた絵カードが何かをヒントをもとに当てる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">A What’s this? Hint, please.</td> <td style="width: 50%;">B It’s red.</td> </tr> <tr> <td>A Apple?</td> <td>B No.</td> </tr> <tr> <td>A It’s a tomato!</td> <td>B Yes!</td> </tr> </table> </div>	A What’s this? Hint, please.	B It’s red.	A Apple?	B No.	A It’s a tomato!	B Yes!	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを答えやすいものにするために、使用する絵カードは3で復習した単語を用いる。 ・ヒントに出す英語がわからない場合には、ジェスチャーで伝えてもよいことにする。
A What’s this? Hint, please.	B It’s red.							
A Apple?	B No.							
A It’s a tomato!	B Yes!							
深 め る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> クイズ大会をしよう </div> 5 これまでに学習した食べ物や動物などを紙に描き、その一部を見せながら “What’s this?”と聞き合う。あえて色は塗らせず、What color is this?などの質問もさせてみる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">A What’s this?</td> <td style="width: 50%;">B It’s a fruit.</td> </tr> <tr> <td>A What color is this?</td> <td>B It’s red.</td> </tr> <tr> <td>A It’s a tomato.</td> <td>B Yes!</td> </tr> </table> </div> 6 これまでの学習について振り返り、振り返りシートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの友達にクイズを出すことができた。 ・○○さんの出したクイズが面白かったよ。 	A What’s this?	B It’s a fruit.	A What color is this?	B It’s red.	A It’s a tomato.	B Yes!	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて英語で会話をさせるために話型を提示する。 ・スキットビデオを見せ、会話のやり方を見せる。【主】 ・<u>英語で積極的に尋ねたり答えたりする活動をさせるために、クイズを自分たちで作って出し合うという活動を行う。</u>【対】 ・本時でできたことを振り返らせるために、can do listに記入させ、できたことを自覚できるようにする。
A What’s this?	B It’s a fruit.							
A What color is this?	B It’s red.							
A It’s a tomato.	B Yes!							

7 評価の観点

- ・身の回りの物が何かと尋ねたり答えたりすることができたか、ゲームに取り組む姿や会話の様子から判断する。(思考力・判断力・表現力)

高 評